

平成31年3月25日  
九州地方整備局  
記者発表

## 日本風景街道九州ルート ～新たに「島原半島うみやま街道」が誕生しました～

この度、九州風景街道推進会議(会長:明石博義 西日本鉄道(株)相談役)において、「新規ルート登録」をはじめ、「九州風景街道マイスター認定」、「年間優秀活動賞」が審議され、平成31年3月18日に以下のとおり承認されました。

九州ルートとして15番目、長崎では「ながさきサンセットロード」に次いで2番目となるルート、「島原半島うみやま街道 ～歴史と水と温泉のまち～」が誕生しました。

### ■新たな登録ルート(別紙-1)

○島原半島うみやま街道 ～歴史と水と温泉のまち～ (九州で15番目のルート)

### ■九州風景街道マイスター(別紙-2)

○村里 静則 (むらさと しずのり) 様  
○刈茅 重信 (かるかや しげのぶ) 様

《九州風景街道マイスターとは》

日本風景街道の活動の普及、活動の活性化などを目的に、多年の経験と卓越した活動技能を有し、活動技術伝承の指導者などを認定する制度を平成25年度に創設。

### ■年間優秀活動賞(別紙-3)

○ながさきサンセットロード【世界遺産を生かした新たなツーリズムの推進】  
○あまくさ風景街道【天草全域おもてなしの一斉除草】

《日本風景街道九州ルート 年間優秀活動賞》

地域の魅力を発掘、維持、発展させるとともに、他地域へ魅力を提供する内容となっている優れた取組みを表彰する「年間優秀活動賞」を平成22年度に創設。

※登録証交付式及び表彰式等の日時・場所については、今後、改めてお知らせします。

<問い合わせ先>

九州地方整備局 道路部 道路計画第二課

課長 松元 勝美  
課長補佐 松木 厚廣  
TEL092-471-6331 (代表)  
TEL092-476-3530 (直通)

### ■活動のねらい

・島原半島のスケールの大きい自然・景観資源や、『南島原市の潜伏キリシタン関連の歴史』『島原市の湧水を活かしたまちづくり』『雲仙市の雲仙・小浜温泉』3市それぞれの特色がある資源を活かした観光振興や地域活性化のため、島原半島を巡る道を通じて、市域を越えた新たな観光ルートづくりやイベントを実施し、訪れる人々に島原半島の魅力を余すこと無く伝えていく。

### ■活動エリアと地域資源

- ・島原半島全域に広がる国道57号、251号、389号などを中心とする地域、全長約194km
- ・中央部に雲仙普賢岳及び平成新山が聳え立ち、東は有明の海、西は夕日が映える橘湾、北側は干潟の諫早湾と周囲を海に囲まれた自然豊かな地域。
- ・平成21年8月に日本第1号の「ユネスコ世界ジオパーク」として島原半島全域が認定され、平成30年7月には「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産として原城跡が世界文化遺産に登録されるなど、壮大な自然が作り出す景観とそこに暮らす人々の歴史などの文化遺産が数多く存在している。

### ■地域の活動推進体制

「島原半島うみやま街道推進協議会」

#### 【構成】

民間：小浜温泉57、星のスピリッツ隊、道の駅 みずなし本陣ふかえ 等  
(活動団体 計48団体)

行政：島原市、雲仙市、南島原市、長崎県長崎河川国道事務所

### ■地域資源、活動内容



道守による清掃活動の様子



①鍋島邸(雲仙市)



⑤島原城(島原市)



⑥鯉の泳ぐまち(島原市)



②千々石断層(雲仙市)



③足湯『ほっとふっと105』(雲仙市)



④雲仙温泉と地獄(雲仙市)



⑦武家屋敷(島原市)



⑧「道の駅」みずなし本陣ふかえ(南島原市)



⑩口之津歴史民俗資料館(南島原市)



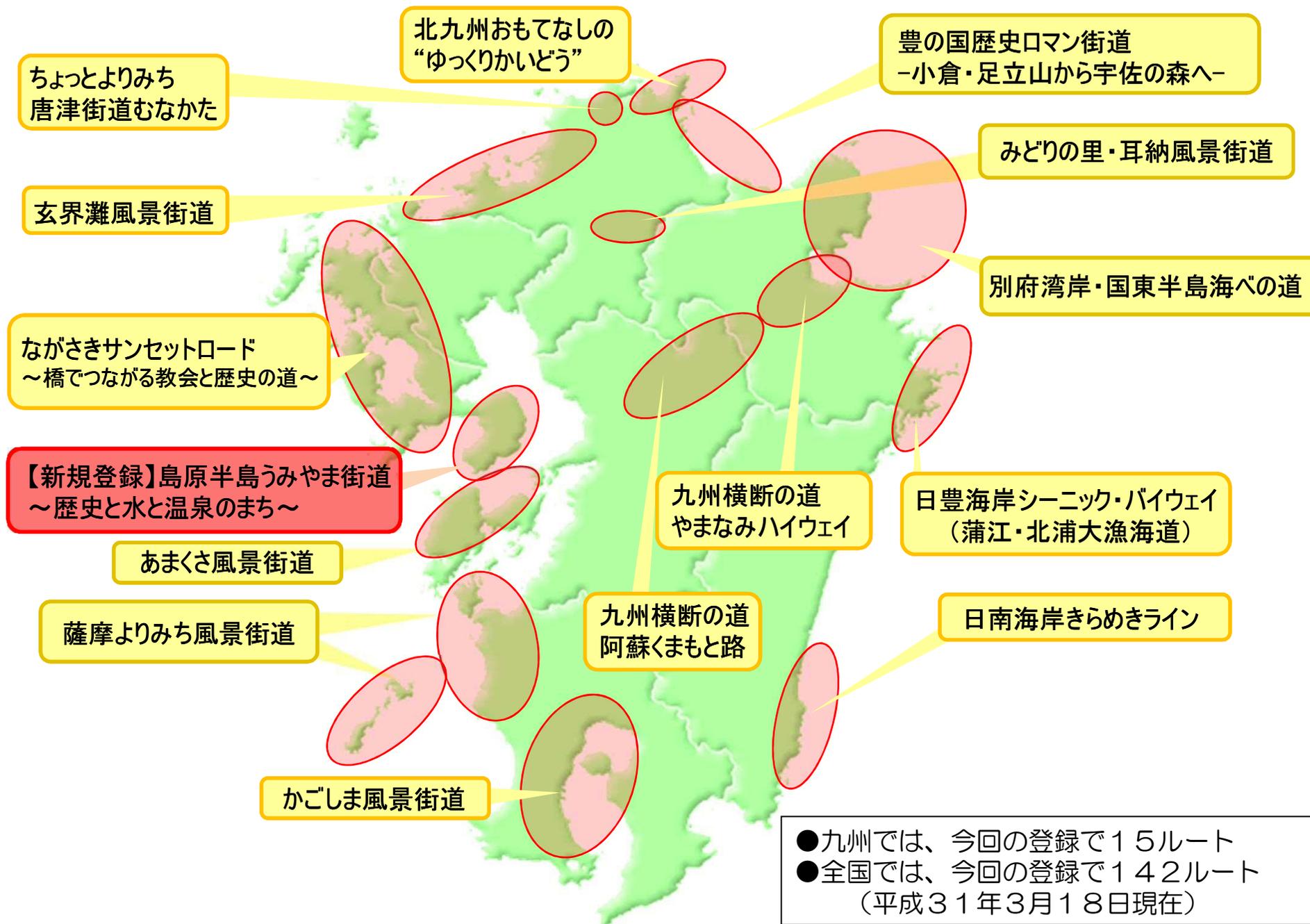
⑨原城跡(南島原市)



地域資源のガイドの様子

# 島原半島うみやま街道～歴史と水と温泉のまち～

九州



## ●風景街道とは

住民・NPO・企業などが主体となって行政と連携しながら、道を舞台に風景や自然・歴史・文化など、地域ならではの資源を活かした「美しい景観づくり」「活力ある地域づくり」や「観光の振興」を行っていく取り組みです。

それぞれの活動を活発にすることで、にぎわいや元気のある地域を目指します。

### 風景街道の概念



## 1 氏名： 村里 静則(むらさと しずのり)

[ながさきサンセットロード]

### ■ 要件1(卓越した活動技能)

活動実績12年以上

・九州風景街道推進会議会計監事として日本風景街道に携わり、周知イベント等の企画立案や協議会の運営に深く関わるとともに、ルート登録10周年記念イベントや西九州3ルート合同バスツアーを主催するなど他のルートと連携したプロジェクトも実現するなど、優れた技能を有している。

### ■ 要件2(実務関係者への指導・育成等)

・振興会設立時から会員や賛助会員を増やし、また、平成31年1月から道(橋やトンネル)の歴史ガイドを育成する道の語り部養成講座を開催し、パートナーシップの取り組みを支援している。



## 2 氏名： 刈茅 重信(かるかや しげのぶ)

[みどりの里・耳納風景街道]

### ■ 要件1(卓越した活動技能)

活動実績7年以上

・24年の立ち上げ当初から委員として精力的に活動し、平成30年度からは会長に就任している。中でも、「風景街道散策ルート」の設定や案内看板の設置、「みどりの里・耳納風景街道MAP」の作成など、目に見える形で地域資源の発掘・活用に尽力するなど、優れた技能を有している。

### ■ 要件2(実務関係者への指導・育成等)

・新たな試みをする際には、多くの人を引き込み、実際に企画・運営を行いながら指導、育成に取り組むなど、次期の人材を育成する重要な役割を担っている



# 平成30年度 日本風景街道九州ルート 年間優秀活動

別紙-3

ルート名 : ながさきサンセットロード

活動名 : 世界遺産を生かした新たなツーリズムの推進

## ■ 取組み概要

- ・西九州3ルート合同バスツアーと題して、ながさきサンセットロード・あまくさ風景街道・薩摩よりみち風景街道の3ルート合同バスツアーを開催。日本遺産、世界遺産(潜伏キリシタン関連遺産、近代化遺産)、道の駅などの地域資源を巡るツアーを実施し、各ルートの課題や事例紹介を通して議論を重ね、ルート間の連携を図っている。
- ・一般参加者を募り、地域資源である夕日、教会、橋などの魅力に加え、7月に登録された世界文化遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」について紹介するイベント(ウォーキングやクルージング)を開催することで、地域の活性化を促進。
- ・歴史的資産を活用して土木の切り口から地域の歴史を伝える語り部の養成講座を開設。

## ■ 取り組みの評価

- ・近隣ルートと連携したツアーは、他ルートでの新たな魅力や知見も高め、持ち帰ることによる磨きあげと相互連携により、更なる情報発信、誘客、交流人口の拡大や知名度向上につながる先進的な取組である。
- ・旅行者(パートナーシップ)と連携して積極的にツアーを開催するとともに、テレビや新聞、SNS・雑誌等を効果的に活用することで、風景街道の知名度向上に大きく貢献。
- ・語り部養成による継続的な人材育成は今後のツアー活動の継続性に期待できる取組である。



3ルート合同バスツアー 情報交換会の様子

開催日:平成30年9月20日(木)、21日(金) 参加人数:38名



外海グリーンツーリズム・サンセットツアー クルーズの様子

開催日:平成30年10月27日(土) 参加人数:86名



道の語り部養成講座の様子

開催日:平成31年1月19日(土) 参加人数:38名

